

## 平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	第二外国語1(ドイツ語)(German 1)	授業コード	A030101
担当教員名	津田 克巳		
配当学年	3年	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	特にありません。		
受講心得	予習は必ずしてきてください。授業には教科書のほかにノートと独和辞典をいつも持参してください。		
教科書	春日正男／松澤淳『魔法使いの旅－親しみやすいドイツ語読本－』(同学社)		
参考文献及び指定図書	根本道也編著『やさしい！ドイツ語の学習辞典』(同学社)、福本義憲著『はじめてのドイツ語』(講談社現代新書)、在間進著『メモ式ドイツ語早わかり』(三修社)、中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧著『必携ドイツ文法総まとめ－改訂版－』(白水社)、中野久夫『ドイツ語が面白いほど身につく本』(中経出版)、関幸子『カタコトのドイツ語がらくらく話せる本』(同前)、岩間智子『しっかり学ぶドイツ語 文法と練習問題』(ベレ出版)、獨協大学ドイツ語教育研究会『はじめてのドイツ語＜改訂新版＞』(ナツメ社)、矢羽々崇著『ドイツ語はじめの一歩まえ』(DHC)、植田健嗣『ドイツ トラベル事典－ドイツ個人旅行ガイド－』(郁文堂)、渡辺二郎・ネスピタル愛『やさしいドイツ語の決まり文句』(南雲堂フェニックス)。		
関連科目	第二外国語2(ドイツ語)、英語1～6、基礎学力講座1・2(国語)、文章表現基礎講座。		

授業の目的	外国語を学ぶことの意義は、母語にのみ基づいた考え方、感じ方に新しい視点を導入し、世界の捉え方に変革をもたらすことにあります。大学では中学校以来学んできた英語に加えて別の外国語を学ぶことが望ましく、それは単に専門教育にとってのみならず、教養教育の一環としても大きな意味を持ちます。この科目ではドイツ語の入門の手ほどきを行います。
授業の概要	外国語科目は本来は演習科目ですが、初めて学ぶ外国語であるため、教科書に基づいてある程度の講義を行います。一方では学生たちに発表を行わせ、授業への積極的な参加を促します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：半期(または通年)の学習についてのオリエンテーション</b> 授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、授業中の発表やレポートの取り扱い、質問の受け付け方法等について説明し、購入すべきものを指示します。また、成績評価の方法にも触れます。	伝達事項について復習をしておく。
<b>第2週：アルファベートが読めると発音できます(1)</b> 発音の3つの原則を覚えましょう。母音や子音の中で特に注意すべきものについて学びます。	予習・復習：発音練習。
<b>第3週：アルファベートが読めると発音できます(2)</b> 前週の続き。発音の確認のために1週間の曜日の名、1年の月の名、四季の名を読んでみましょう。	予習・復習：発音練習。
<b>第4週：あいさつの言葉。第1課(1)</b> 発音の確認を兼ねてあいさつの言葉を学びます。第1課。動詞は主語によって形が変わります。文の種類によって動詞の位置が異なります。	復習：あいさつの言葉を声に出して読んで覚える。
<b>第5週：第1課(2)</b> 動詞の変化形をしっかりと覚え、平叙文や疑問文を作ってみましょう。	予習：教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。
<b>第6週：第2課(1)</b> 名詞には性・数・格があります。格変化は重要です。	予習：教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。
<b>第7週：第2課(2)</b>	

名詞の格変化と並んで定冠詞、不定冠詞の格変化も覚えましょう。名詞の複数形の作り方にはいくつかのパターンがあります。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。	
<b>第8週: 練習問題(1)</b> 前週までの学習事項を復習しながら練習問題に取り組んでみましょう。	予習:問題を解いておく。	
<b>第9週: 第3課(1)</b> 現在形で母音の変わる動詞があります。変則的なものもあるので注意しましょう。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。	
<b>第10週: 第3課(2)</b> 命令形には3種類の形があります。その時に母音の変わる動詞もあります。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。	
<b>第11週: 第4課(1)</b> 冠詞と同じような変化をする語があります。定冠詞類と不定冠詞類です。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。	
<b>第12週: 第4課(2)</b> 「誰?」「何?」を表す語。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。	
<b>第13週: 練習問題(2)</b> 前週までの学習事項を復習しながら練習問題に取り組んでみましょう。	予習:問題を解いておく。	
<b>第14週: 第5課(1)</b> ichやduも立場によって形が変わります。(人称代名詞の格変化。)	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。	
<b>第15週: 第5課(2)</b> 前置詞と格の切っても切れない関係。(前置詞の格支配。)	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えておく。	
<b>第16週: 期末試験</b> 第2週から第15週までの授業内容に関する試験を行います。	予習:前週までの学習事項を確認しておく。	
<b>授業の運営方法</b>	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
<b>備考</b>		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	英語圏の他にドイツ語圏にも目を向けるようになること。
<b>【知識・理解】</b>	ドイツ語やドイツ語を話す国や地域に関して基礎的な知識を持つこと。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	簡単なドイツ語文をきちんと発音できるようになること。
<b>【思考・判断・創造】</b>	ドイツ語を通して見る世界が英語を通じた場合とは違った見え方がするの気づくこと。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			<b>45点</b>	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	<b>45点</b>			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	<b>5点</b>			
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	<b>5点</b>			
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	